

赤い羽根街頭募金へのボランティア参加

実施日：平成24年10月6日（土）

場所：ビックフレック稲川店

参加生徒：1年男子（4名）

【赤い羽根共同募金とは】

高齢者、障害者、こどもたちなどへの、地域の福祉活動を支援する募金です。災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や運営にも役立っています。赤い羽根は、募金3兄弟と呼ばれ、この他にも、「ふるさとサポート募金」や「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」などがあります。

(参考URL：<http://www.akaihane.or.jp>)

稲川分校1年生の四人は、今回の「赤い羽根共同募金」のボランティアとして参加しました。他にも、駒形小学校、川連小学校、湯沢翔北高等学校の皆さんが同じ時間の割り当てとなっていました。

「赤い羽根共同募金へのご協力お願いします。」



小学生は元気のよい声出し、高校生は風船や羽根の受け渡し。それぞれが役割を全うしながら募金活動を頑張った。

「小学生の元気な声につられる様に声を出したが、若さには負けます。」

「寒いから声が出なかった。風船が風で何回も飛びそうになった。」

「赤い羽根募金のお金って何に使われてるんですか。」

ボランティアが終了してから、感想を聞いてみると、このような声が返ってきた。赤い羽根街頭募金運動に参加した市内各学校・福祉団体は231名、募金ボランティアの活躍と、地域の方々の協力もあって、321,660円もの募金が集まった。

稲川分校の参加生徒1年生四人の中には、自分達が住むまちの共同募金の使いみちが分からないまま参加してしまった生徒もおり、今回の活動を通じて、少し募金の使い道を理解できたようだった。稲川分校は募金活動を行っていた場所から車で10分位進んだ稲庭町にある。地域内の方とお話したりする機会が少

なくなっている現状がある。赤い羽根共同募金運動を通じて、地域の方々の暮らしに触れ、やさしい気持ちや思いやりの心を育むことができたと感じている。このボランティアで得た事を生かしながら今後の学校生活を送って行って欲しい。

